

# 住宅用火災警報器を設置しましょう

平成29年の津市内の住宅火災は、8月末現在で24件(昨年比3件増)ありました。また、8月には火災が原因で2人の死亡者が出ています。

日頃から火災を出さないように心掛け、万が一火災が起こったときも早期に発見し、初期消火や安全な場所に避難することが大切です。尊い命を守るために、住宅用火災警報器を設置しまし

う。

また、住宅用火災警報器の寿命は約10年です。古くなると電池切れ、故障などの不具合が予想されますので、既に設置されている警報器は定期的な点検を実施してください。取り替えの際は、1個の警報器が鳴れば他の警報器も同時に鳴る連動型の住宅用火災警報器がおすすめです。

## 住宅用火災警報器の取り付け場所



家のどこに取り付け  
ばいいの？

### 設置義務

1階以外に寝室がある場合は、階段にも取り付けましょう。  
(煙式を設置)

### 設置義務

住宅内の寝室にあたる部屋に取り付けましょう。  
(煙式を設置)

### 設置推奨

義務はありませんが台所に設置することが望ましいです。  
(熱式が望ましい)

### 設置推奨

他の居室でも連動して鳴る連動型住宅用火災警報器がおすすめです。

## 住宅用火災警報器の定期的な点検を

### 電池切れに注意！

定期的に点検ボタンを押すなどして作動確認をしましょう。警報音か音声鳴れば正常です。

※電池の寿命は約10年ですが、機種や動作環境により異なります。

### 定期的にお手入れをしましょう

住宅用火災警報器はホコリが入ると誤作動を起こす場合があります。

### 警報音が鳴ったら

住宅用火災警報器は火災を感知した時以外にも、電池が切れそうになった時や故障の時に音や光で知らせてくれる機種があります。

※警報音が鳴った時の対処法は取扱説明書で確認しておきましょう。

### 本体交換および廃棄方法

住宅用火災警報器本体もセンサーなどの寿命により交換が必要です。10年を目安に交換しましょう。

交換するときは他の居室でも連動して警報音が鳴る連動型の住宅用火災警報器がおすすめです。

また、捨てるときは本体と電池を別にして捨てましょう。お住まいの自治体のルールに従って廃棄してください。